

作成日： 1995年12月27日
 更新日： 2022年5月18日
 Ver. 14.0

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： **ドルガードS粒剤**

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名： 株式会社アグリマート

住所： 〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目12番2号 京橋第2有楽ビル6階

担当部門： 技術グループ

TEL. 03-5159-1711, FAX. 03-5159-1712

緊急連絡電話番号：(平日) 03-5159-1711 (技術グループ)

推奨用途及び使用上の制限：白蟻防除剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない	
健康有害性	発がん性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(呼吸器系、腎臓)
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

発がんのおそれ
 臓器(呼吸器系)の障害のおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害のおそれ
 水生生物に非常に強い毒性
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 粉じんを吸入しないこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断を受けること。

- 気分が悪いときは、医師の診断を受けること。
- 漏出物を回収すること。

【保管】

- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性：特に無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：2-メチル-1,1'-ヒフェニル-3-イルメチル=(Z)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロ-1-プロピニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンスルホキシルト (一般名 ビフェントリン)

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ビフェントリン	0.15%	82657-04-3	—	(4)-1701
〈その他〉				
ベンジルエーテル	8.4%	103-50-4	—	(3)-1082
				化管法第二種指定化学物質
メタノール	0.17%	67-56-1	—	(2)-201
				安衛法通知対象物
シリカ(非晶質、結晶質)	62.2%	112926-00-8	既存物質	(1)-548
				14808-60-7
				安衛法表示・通知対象物
溶剤・界面活性剤等	残	—	—	—

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。異常がある場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石けんでよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合：速やかに新鮮な空気のある場所に移す。異常が現れた場合には医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：口をすすぎ、カップ1～2杯の水をのませる。医師の診断を受ける。意識の無いときには口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火方法：本剤は不燃性。消火活動には適切な保護具(自給式呼吸保護具等)を着用する。高温により有毒なガス(塩化水素、フッ化水素等)が発生する恐れがあるので、煙、ガス、蒸気の吸入を避ける。汚染水等が水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

消火剤：粉末、泡沫、炭素ガス、水、砂
 使ってはならない消火剤：情報なし。

6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、

保護眼鏡、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、粉じんを吸い込まないようにする。漏出物が飛散しない様に集め、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： 局所排気装置を設置し、換気の良い場所で行う。適切な保護具を着用し、ミストやガスを吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。
- 保管： 容器を密封し換気の良い冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない所に施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理、許容濃度：

	J S O H*	A C G I H**
ビフェントリン	—	—
ベンゾルエーテル	—	—

*日本産業衛生学会 **米国産業衛生専門家会議

設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人用保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。
防護マスク、保護眼鏡、ゴーグル、保護面、保護衣(不浸透性)、ゴム手袋、ゴム長靴。
作業時に着用していた衣類等は、他のものと分けて洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： 細粒
色： 淡褐色
臭い： データ無し。
融点/凝固点： データ無し。
沸点又は初留点及び沸点範囲： データ無し。
可燃性： 該当しない。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界： データ無し。
引火点： データ無し。
自然発火点： 常温で空気と接触しても自然発火しない。
分解温度： データ無し。
pH： 4.0~7.0 (1%水懸濁液)
動粘性率： データ無し。
溶解度： データ無し。
n-オクタノール/水分配係数： データ無し。
蒸気圧： データ無し。
密度及び/又は相対密度： 0.76
相対ガス密度： データ無し。
粒子特性： データ無し。
粘度： データ無し。

10. 安定性及び反応性

反応性： データ無し。

化学的安定性： 通常の取扱い条件では安定。

危険有害反応可能性： データ無し。

避けるべき条件： データ無し。

混触危険物： データ無し。

危険有害な分解生成物： 燃焼すると有害なガス(HCl、HF、CO 等)が発生する可能性がある。

1 1. 有害性情報

急性経口毒性： 1%以上含有され、毒性情報のある成分は全て区分外であることから区分外とした。毒性未知成分量は86.6%。

生殖毒性： 区分1Bに分類されるメタノールを含有するが、濃度限界である0.3%未満であることから分類できない。毒性未知成分量は99.6%。

発がん性： 区分1Aに分類される結晶質シリカを4.3%含有し、濃度限界(0.1%)以上であることから区分1とした。毒性未知成分量は95.5%。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(呼吸器系)に分類される結晶質シリカを4.3%含有し、区分2の濃度限界である1%以上・10%未満なので区分2(呼吸器系)とした。毒性未知成分量は95.3%。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1(呼吸器系、腎臓)に分類される結晶質シリカを4.3%含有し、区分2の濃度限界である1%以上・10%未満なので区分2(呼吸器系、腎臓)とした。毒性未知成分量は95.3%。

誤えん有害性： 製剤のデータ無し。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)：

急性区分1に分類される成分含量から推定し、区分1とした。毒性未知成分量は91.0%。

水生環境有害性(長期間)：

慢性区分1に分類される成分含量から推定し、区分1とした。毒性未知成分量は91.0%。

生態毒性： 製剤のデータ無し。

残留性・分解性： 製剤のデータ無し。

生体蓄積性： 製剤のデータ無し。

土壌中への移動性： 製剤のデータ無し。

オゾン層への有害性： 製剤のデータ無し。

1 3. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託し適切に処理する。残薬及び洗浄液は、河川、下水等水系に流さないようにする。

1 4. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号： 3077

品名(国連輸送名)： ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
(contains bifenthrin)

国連分類： 9

容器等級： III

海洋汚染物質： 該当

緊急時応急措置指針番号：171

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法： 毒物及び劇物に該当せず(劇物のメタノールを含むが混合物であり該当しない)。

労働安全衛生法

表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条) : シリカ(政令番号 312)

通知対象物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2) : メタノール(政令番号 560)、シリカ(政令番号 312)

化学物質排出把握管理促進法(化管法)

指定化学物質 : ベンジルエーテル(第二種・政令番号 49)

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB@-Hazardous Substances Data Bank

日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン、2012 年 6 月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252 : 2019、GHS に基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 : 2019、GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。